



伝統をしっかり守りつつ、アレンジをきかせた楽しい飾りが街行く人々の目を楽しませた。[連坊商興会] (第4地区[若林区・太白区地区] 金賞受賞)



地域が一体となって作られた笹飾りが美しくたなびく。[原町本通商工親睦会] (第3地区[仙台駅周辺・宮城野区地区] 金賞受賞)

ご当地ヒーロー“アラマチマン毘沙”がお祭りの安全を守る!「荒町商店街振興組合」



それぞれの飾りに工夫を凝らし、味わい深い「根白石商工会」の飾り。(第5地区[北地区] 金賞受賞)



「七夕飾りの振興策に関する検討委員会」での意見を反映し、伝統を生かしながら未来の七夕をイメージして作成された飾り。市民に七夕の良さを感じてもらえるデザインにチャレンジした(株)鐘崎一番町店。



フォーラス前に登場したおなじみの仕掛け物飾り。子供たちに大人気!



「わぁ!きれい!!」子ども達も街を彩る豪華な飾りに思わず手を伸ばす。



青空と調和した笹飾りが美しく輝く。「一番町四丁目商店街振興組合」(第1地区A[東一番通り商店街] 金賞受賞)



次々と続く笹飾りの存在感に多くの観客が酔いしれた。「名掛丁商店街振興組合」(第1地区B[中央通り商店街] 金賞受賞)

「夢をかたちに〜星に願いを〜」をテーマに仙台市内の児童・生徒約8万人が作成した折鶴からなる七夕飾り。虹をイメージした飾りから子ども達の願いと思いが伝えられた。



仙台商人の心意気を感じた「仙台朝市商店街振興組合」の仕掛け物飾り(第2地区[青葉区周辺地区] 金賞受賞)

今年も仙台七夕まつりが8月6日、8日の3日間開催されました。期間中は、雨の混じる天候となりましたが、ご来場いただいた204万2千人のお客さまに紙と竹の織り成す芸術をお楽しみいただきました。

感謝と決意、願いを込めて 仙台七夕まつり開祭



JR 仙台駅ほか案内所で親善大使が笑顔で来街者をおもてなし。



関連イベント



第45回仙台七夕花火祭(主催: (公社) 仙台青年会議所)「結び～想いをつなぎしあわせな未来へ～」をテーマに16,000発の花火が夜空を鮮やかに彩った(8/5)。

多くの観光客が写真撮影を楽しんだ歓迎ボード。東北学院大学の学生が写真撮影ボランティアとして活躍(JR 仙台駅前)。



多くの子供たちが集まった紙芝居の上映(サンモール一番町商店街)。



奥州仙台おもてなし集団「伊達武将隊」が夜の仙台城跡で演舞。



一番町四丁目商店街の竹灯り。幻想的な灯りが街行く人の癒しに(8/13)。



4年ぶりに再開した「周辺部七夕バスツアー」では、南方面・北方面2種類のコースを設定。参加した72人が周辺部商店街の飾りとおもてなしを楽しんだ(8/7)。



いろは横丁では昔の仙台の写真を展示。ペガルタ仙台のマスコット「ペガッ太君」も登場!

～仙台七夕おまつり広場～

震災後、全国各地からいただいたご支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、来場者の皆さんにこれまで以上に仙台七夕まつりを楽しんでいただこうと「仙台七夕おまつり広場」を今年も展開。

勾当台公園市民広場と定禅寺通のグリーンベルト(中央緑道)を7つのエリアに分け、それぞれに特色のある演出を展開しました。



在仙歌手の山田祥子さんが織姫プロジェクトオフィシャルソング「約束」を熱唱。



書いた手紙が1年後に届く未来ポスト



七夕の象徴「織姫像」。夜間にはライトアップも施された。



ミニ七夕飾り作成やお絵かき体験ができるワークショップが子ども達に大好評



ダンスパフォーマンスなどさまざまな企画が実施された「artanabata(アートタナバタ)」。



終日大人気だった短冊記入コーナー。たくさんの願いが集まった。



定禅寺通の中央緑地帯にはこれまでの七夕の歴史を展示。祭りの変遷を紹介した。



定禅寺通緑地帯にはカフェも登場。涼みながら小休止。



全国各地から届いた支援短冊に感謝の気持ちを乗せて展示。



竹のアーチにLEDが施された光のトンネル。両脇には歴代の七夕まつりポスター行燈を設置。



つなぎ横丁が盆踊り会場に変身。七夕踊りも復活した。